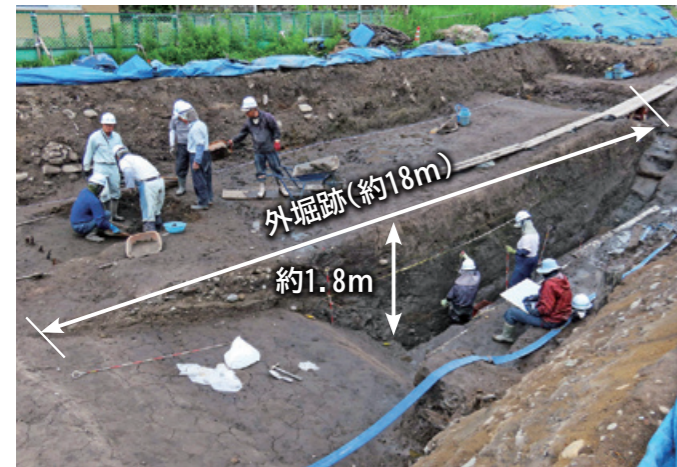


あいづわかまつ 文化財だより

発行：会津若松市教育委員会
編集：会津若松市教育委員会
文化スポーツ課
〒965-8601 会津若松市東栄町3番46号
TEL 0242-39-1305 FAX 0242-39-1462

—第33号—
令和8年(2026)4月1日



▲外堀の様子

県道の整備に伴う発掘調査 本町

現在、若松城北側の通りである本一之丁の道路拡幅工事が進められており、その通りが西側に延長する箇所の発掘調査を行いました。

調査地は、江戸時代の融通寺町口郭門の西側にあたり、外堀と土塁があった場所です。調査の結果、土塁の痕跡は見つかりませんでした。外堀跡は良好に残っていました。

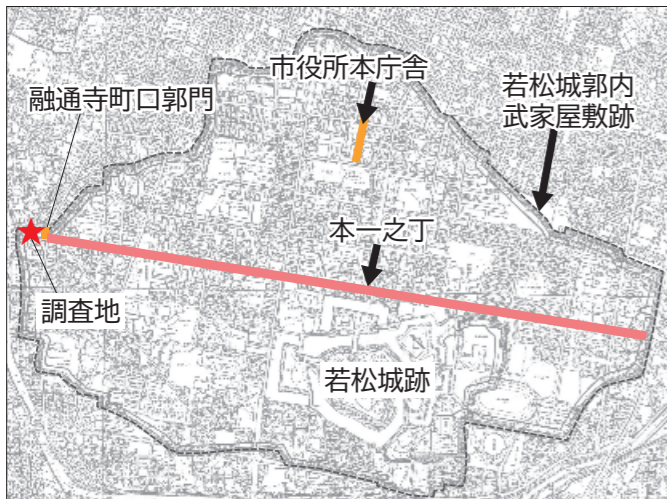
外堀底の中央は土手状になっており、その両側はさらに深く掘られていました。

城の堀底は、「敵堀」と呼ばれる連続した四角形に掘られることがあり、今回の調査地点は、中央の土手の両側に敵堀が2列並列する可能性もあります。

堀底の近くから、16世紀末から17世紀初頭に生産された備前焼の大皿や、瀬戸焼の播鉢、中国産の磁器の皿など、城下町が整備された頃の焼物が出土しました。

若松城郭内武家屋敷跡とは？

若松城と城下は、蒲生氏郷により文禄2(1593)年から整備されました。東西約2km、南北約1.3kmの範囲が堀と土塁で囲まれ、郭内と郭外を結ぶ16の郭門が設けられました。堀と土塁で囲まれた範囲の全てが「若松城郭内武家屋敷跡」という遺跡として登録されています。



▲若松城郭内武家屋敷跡の範囲と調査地の位置

文化スポーツ課からのお知らせ

遺跡(周知の埋蔵文化財包蔵地)内で工事をする際には、事前の届出が必要です。

遺跡の有無は、窓口、FAX、メールまたは、会津若松市公開用GISで確認できます。工事予定地が遺跡に該当、もしくは近隣にある場合は、文化スポーツ課までお問い合わせください。



◀市公式ホームページにて使い方、使用の際の注意事項を記載しております。ぜひご覧ください。

より良い文化財のすがたへの取り組み



▲(上)工事前 (下)工事中



▲建立当時の彩色の痕跡を見ている



がもうひでゆきびょう 蒲生秀行廟

県指定重要文化財 館馬町

蒲生氏郷の子、秀行の墓所である蒲生秀行廟では2カ年に亘って屋根の保存修理工事を行っています。茅葺き屋根に傷みが見られ始めたためこれを撤去し、新たに銅板葺きで葺替えます。

茅撤去工事の最中には見学会を開催しました。普段は見ることのできない屋根内部の木構造や柱の顔料の痕跡から建立当時の外観の考察についての説明を行いました。参加者の皆さんに貴重な文化財に関心を寄せていただきました。

やまがそごう 山鹿素行生誕地

山鹿町

江戸時代の兵学者である山鹿素行の生誕地において、既存ブロック塀の撤去に合わせて園路舗装と修景工事を行いました。ひびの入った入口階段のコンクリート盤を撤去し、スロープと手すり、階段を取付け、明るい雰囲気のある場所に変わりました。



▲整備工事前の様子



▲整備工事後の様子

文化財防火デー

市では「文化財防火デー」に合わせて毎年消防訓練を行っています。今年は火災の危険性が高まる時期に備え、11月30日に実施しました。

訓練は国指定重要文化財の延命寺地藏堂で約10年ぶりに行われ、訓練を通して地域全体の防火意識を高めました。



▲放水を行っている様子

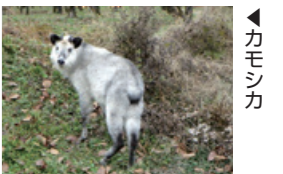
ニホンカモシカについて

ニホンカモシカは国の特別天然記念物に指定されている動物です。

カモシカは基本的には人に危害を与える動物ではありませんので、そっと遠くから見守り、刺激しないようお願いします。また、畏にかかって身動きが取れなくなっているカモシカや、死亡しているカモシカなどを発見した場合は、市役所までご連絡ください。カモシカの特徴やカモシカを発見した際の状況別の対策とお願いについては、下記の二次元バーコードのページをご確認ください。



▲市HP



◀カモシカ

埋蔵文化財の保護

発掘現場から
文化力

墓料遺跡発掘調査整理事業 一箕町

墓料遺跡は、亡くなった人の骨を土器に納めて埋めた、再葬墓と呼ばれる弥生時代の遺構が多数発見された遺跡です。

令和元年度から出土品の整理を進め、過去の調査成果をまとめた報告書を今回刊行しました。出土した200個以上の土器の中には、関東や東海地方、更に遠い西日本で流行した文様の土器も含まれており、ヒトやモノの交流があったことが分かります。



▲会津に多い文様の弥生土器。ハートのような模様があります。



▲人面が付いた土器片、顔の模様は入れ墨でしょうか。



▲西日本で流行した木葉文の土器片。会津まで運ばれてきたと思われます。



市道拡幅に伴う発掘調査 城前

城前団地内において、市道拡幅に伴い発掘調査を行いました。屋敷と道路の境界に建てられた塀の基礎と思われる石列が見つかりました。60cm～90cm程度の石を規則的に並べているもので、江戸時代の絵図に見える塀が実際にあったことが確かめられました。

御山地区農地整備試掘調査 門田町

門田町御山地区で予定されているほ場整備計画の予定地には、これまで古代の集落跡や水田跡が確認されている門田条里制跡という遺跡があります。

昨年度と今年度の二か年に亘り、予定地における遺跡の深さや性格を把握するために試掘調査を行います。昨年度は会津総合運動公園の北側一帯の田んぼを調査し、特に果樹園の周りで古代の建物跡などの遺構や、土師器・須恵器といった古代の土器が出土しました。



▲土が黒くなっているところが昔の建物跡と思われます。



▲重機を使って慎重に掘削作業を行います。



屋敷の塀の基礎と思われる石列。▶大小さまざまな石を列にして並べています。



文化財を知ってもらうための取り組み

市民から
文化力

文化財を保存活用するための意見交換会

「製鉄の歴史」をテーマに開催しました。会場では、製鉄関連の簡易展示と、製鉄の実証実験を通して歴史資源を継承する取組を実施している2団体に事例発表をしていただきました。

その後、歴史文化を継承することの意義や方法、課題、活用方法等について、活発な意見交換が行われ、多くの参加者から、たたら製鉄に関する提案や将来展望などの意見が出されました。



郷土研究に関する奨励

会津の歴史や文化に関する調査や研究をした作品を募集し、優秀な作品には奨励金を贈呈しています。準奨励賞以上の作品は歴史資料センターまなべこや会津図書館、市のホームページ上で閲覧できます。

令和8年度の募集要項は5月1日以降発行の市政だよりや市のホームページを参照してください。



令和7年度 郷土研究奨励受賞作品

受賞内容	作品タイトル	氏名(敬称略)
準奨励賞	フランス人神父と戊辰戦争 -「旅行記」にみる会津-	高野 延光
準奨励賞	会津みそ探検隊	増子 久遠 (謹教小4年)
準奨励賞	赤べこの人気	鈴木 理久汰 (城北小4年)
努力賞	乗丹坊に内在する武士的相似性への考察	五十嵐 公一
努力賞	今出川家と石井氏をつなぐ八百比丘尼伝説	斎藤 綾香
努力賞	中山風穴地について	佐々木 大心 (城南小5年)
努力賞	十日市の研究	山田 詢 (謹教小4年)
努力賞	会津地方の盆踊りについて	山口 遥 (小金井小4年)

赤井谷地観察会

湊町にある赤井谷地沼野植物群落は、北方系の植物が現存している珍しい高層湿原で、国の天然記念物に指定されています。谷地の保護・保全への理解を深めていただくための観察会を昨年8月に開催し、市内および市外の方27名に参加いただきました。

谷地の調査に携わっている日本大学の笹田准教授に谷地の成り立ちや、谷地特有の植物や昆虫について、谷地や磐梯山、猪苗代湖を一望しながら説明していただきました。なお、谷地保護のため、普段は立ち入りできません。



まなべこ歴史文化講座

まなべこでは、会津の歴史や文化をさまざまなテーマで紹介する講座を定期的で開催しています。

講座に関する最新のお知らせは、市政だよりやまなべこホームページをご覧ください。

まなべこHP▶



令和7年度に実施した講座

開催日	回	テーマ
令和7年5月25日	105回	天文台跡と日新館を巡る(屋外)
令和7年6月15日	106回	大窪山を歩こう(屋外)
令和7年7月20日	107回	鶴ヶ城公園の小さな世界…苔(屋内)
令和7年8月24日	108回	会津の仏教のはじまり(屋内)
令和7年9月21日	109回	会津みその歴史(屋内)
令和7年10月19日	110回	御薬園の歩き方(屋外)
令和7年11月30日	111回	まちなかの登録文化財を巡るⅢ(屋外)
令和7年12月21日	112回	発掘調査から探る会津の歴史'25(屋内)
令和8年1月18日	113回	若松城下のつくり(屋内)
令和8年3月22日	114回	八田野神楽を観る(屋内)